

## アンケート結果について

2013年5月 北海道自然保護協会

4月13日のダム集会に80数名の方が参加して、24名の方からアンケートに協力いただきました。ありがとうございました。アンケート結果を下記に記します。読みにくい字があったこともあり、間違いがあるかもしれませんが、ご容赦ください。いくつかのご意見について簡単にお答えします。

●参加者数が少ない。宣伝方法に問題があるのでは・・・実行委員会構成の各団体による宣伝が主でした。新聞による参加者がゼロでしたが、今回は新聞による宣伝は不十分でした。淡水魚保護ネットワークシンポ（約100名参加）より少ないとのことがありました。今後の集会やシンポジウムで参考にして取り組みます。

●もう少し多くの北海道内の川関係の団体と連携を図るべき・・・今後検討させていただきます。

●「協議の場の設置」以外の提案、1) 第三者主催のシンポまたはパネル討論、2) ステークホルダーの洗い出し、3) ガバナンス改革をめざす、について検討課題とします。

●「協議の場の設置」は長期的目標、短期的目標も考える・・・なかなか企画案が浮かびませんが、検討します。

●「川を先住民の手に」も重視すべき・・・その通りだと考えます。

●「協議の場の設置」ができない場合のシナリオをつくって皆で共有する運動・・・おっしゃることは理解できます。シナリオということを考えていきます。

●北海道自然保護協会のホームページに掲載すべき・・・アンケート結果をHPに掲載します。

## 回答

### 1 集会を知った契機

1) ちらしを見て：10、2) 北海道自然保護協会 HP：3、3) 新聞：0、4) 知人・友人から：11、5) その他：2 （回答総数26なのは、二人が複数回答したため）

### 2 興味深く聴いた講演（複数回答）

1) まさのあつこ：17、2) 宮田修：6、3) 佐々木克之：4、4) 前川光司：11、5) 西島和：13  
感想

○1) よく行政の動きをつかんでわかりやすく報告してくれた。種の保存法の問題。○2) 現地の心情がよくわかった。○行政のからくりがよくわかった。○「市民参加」が「権利」となれば、自治体首長の権限をセーブすることができるか？○みんなよかった。特にと言われると、前川さんの資料が、字が大きくて見やすくわかりやすかった。○皆さんよかったです。まさのあつこさんの熱意に大変力をいただきました。ご苦労有りと思いますが、がんばっていただきたいと思います。西島さんのお話は、核心にふれるお話で、難しいけれど力をあわせて（市民と）実現の方向に行くといいと思いました。初めての参加でした。○霞ヶ関の議員は地元の議員であるので、我々が意識を高めて1票の重さを知るべきである。国民主

#### 4. 上記以外の、ご感想、ご意見

○政権が変わり、憲法改正まで進みそうです。反対運動を続けてください。○よい話しを聞くことができました。これから地域活動での考え方のもととして考えたいと思います。○(1)参加者数の少なさに驚きました。先日の淡水魚保護ネットの集まりより少ない。(2)集会の主旨、内容の案内、宣伝が十分でなかったのではと推察します。(3)「河川行政はかえられるのか」のテーマに十分に入り込めないままに終わったように感じた。(4)「サンル」「平取」の闘いの経過や中身をもと具体的に聞きたかった。(5)全道各地で開発局を相手に「河川」をめぐる闘っている現状課題を交流し合えるとよかった。○まさの氏、西島氏、すばらしい人材ですね。○これからは政治的緊急課題も(TPP、原発など含めて)ほしいです。比重はもちろん最小限でよい。立場の違う環境保護団体の参加者があってよいと思う。ホームページで公表してください。○最初の質問者が、「住民が誰も参加していないのに住民に意見を聞いた(住民集会を開いたからOKみたい)ことにしてしまう」、こんなことが通るのか・・・いろいろな場合で、このような役所の態度が見られると思います。役所は、住民が参加しようがしまいが、集会を開いた事実があればいい。大事なことは、きちんと集会のことを住民に伝え、できるだけ多くの住民が参加し、話しあいができることを望みます。話しを聞きっぱなしでなく、最後に意見交換があったのはよかったと思います。ご苦労様でした。○「協議の場」の実現は長期的な目標に思います(本来すぐに実現されるべきですが)。短期的にできることは何かも議論をわけて。○「川を住民の手に」がテーマで、これに大いに賛成ですが、「川を先住民の手に」という観点もぜひ加えてください(なかったわけではありませんが)。これは沙流川の問題だけでなく、石狩川(当別川を含む)、天塩川(サンルを含む)(沙流川だけが「聖地」ではありませんし、「聖地」だけが問題なのではありません)の各水系でも問われるべきことです。そして北海道の主要河川すべてで。この観点からすると、変わらないといけないのは、河川行政だけでなく、道民の側をふくめ、皆が変わりながら取り組んでいかないといけないのではないのでしょうか。この問題にしっかり取り組むことは、市民の運動が論理性、倫理性において行政に互し、のりこえていくために、とても重要なことだと思います。そうした点は、重視される前提で集会の主旨、決議に賛同しています。どうぞよろしくお願いします。○課題が多いので、演者が多くなるのもやむを得ない面もありますが、もう少し絞ってじっくり聞ける組立がよい。PPを使用しない演者のときに、関係のないBPを流すのは集中できないので、逆親切。○決議、回答を求めることに加えて、どう実行止めるのかの戦略が関連団体全体として必要ではと感じます。止めるスイッチをもっているのはどこで、そこにどこからアプローチすることが有効か?、法という正攻法もひとつあるでしょうし、市民側からというのもあり、北海道河川を守る活動に関わる方がどういう生態系(つながり)となって役割を果たすのか。回答がきたとしたら、こないとしたら、協議の場をもてたら、もてなかったら、次は、どうしようとしているのか。この会議が根本解決のためにどういう機能を果たす会なのか、これも考えているシナリオを、参加者と共有することで、この場だけで終わらない動きになるのでは。○生態系保全のためにも、天下りのための無駄なダム建設はやめてほしいと思う。行政に理解してもらうことが必要だと思った。

権を実現するための、我々にできることは？○1) 理論や想念的批評ではなく、ジャーナリストとして各種会議を傍聴し、取材資料収集を重ねた上での実態、今後のありかたの提案を行っている。これらは河川行政のみならず、現在に至る行政作為全体に共通していることなので、他の課題について他省庁にわたるこの種の提案活動団体とのネットワークづくりも難しいながら重要と思われる。○「最小化」に科学的な意味（目標）を持たせること。○2) 討論のときの話しが貴重だった（現場の話し）。話しはどちらもよかったが、本集会ゴール・目的に沿った内容としては？ 今回どういう方の参加が最も多いという予測で、もしくは対象者は誰向けでしょうか。河川について一定の情報をもった参加者を対象にしたのであれば、河川の基本の話は、何か具体的な行為を引き出す場にするのもよいでしょう。参加者にどのような状態になって帰ってもらおうのかということや、どういう場にするかをより明確にしていくと、よりよいと思いました。○せっかく魚道をつくっても、あまり機能を果たさない例があるというのが印象的でした。○水源開発機構が違法な海外進出を始めているなど、中央の興味深い情報をお察いただき、感謝です。

3. 北海道開発局と住民団体・環境団体との「協議の場の設置」を求めることについて（複数回答）

1) 妥当であり、実現してください：16、2) 「協議の場の設置」の実現は難しいが進めるべき：7

3) 別な方法・方向をめざす：1

感想・提案

○やはり実現できるといいと思います。話しあうことで解りあう点も出てくる、そこから解決できる部分も出てくる。時間はかかりますが、「協議の場」は必要だと思います。○直接協議が難しければ、第三者主催のシンポまたはパネル討論などを設定できないか。○別な方法・・・ひとつの手段としてすすめていくことは必要と思います。1) と2) を考慮して、とことんステークホルダー（利害関係者：主催者註）の洗い出しをしていき、作戦を練るのはどうでしょうか？ ○3) 工事を進めることが仕事の開発局と市民が直接対峙するのは本音のところではトン・キホーテだろうと思うこともあります。行政のモチベーションの方向や手続きを変えるガバナンス（ガバメントと対照的に政府ではない集団による統治（主催者註）改革をやんわりと深く静かに行う方法がないものだろうか、常々考えています。

4.) その他の意見

○このような団体の本日のような集会を希望します。○弁護士会はもっと市民を助けて！○締めあいさつのように、息長く続けることが重要と思いました。○日弁連の公共事業の必要性をチェックする法律を作ろうとするパンフレットをみる。よりよい法律ができるよう待っています。○本当に人選が大切だと思います。市民の盛り上がり最も大切だ。○ダム必要性について、人口減少の中で自然を守ることが必要である！！優先順位はどこにあるのか。○自然保護協会の発言は、学者であるならば学問的なことに集中してもらいたい（政治的見解などに片寄がち！！）○サクラマス資源のすばらしさから、ほぼ保全することで永続的に利用できる価値。河川の経済的価値をはかる。